

2009年9月17日
国立大学法人東京学芸大学
財団法人コカ・コーラ教育・環境財団

東京学芸大学内に環境教育の新拠点 『コカ・コーラ教育・環境財団寄附施設 若草研究室』 都市緑化月間が始まる 10月1日竣工

国立大学法人東京学芸大学（所在地：東京都小金井市、学長：鷲山恭彦）と財団法人コカ・コーラ教育・環境財団（所在地：東京都港区、理事長：縄英明）は、環境教育交流施設、『コカ・コーラ教育・環境財団寄附施設 若草研究室』を都市緑化月間が始まる10月1日（木）、東京都小金井市 東京学芸大学に竣工いたします。当研究室には、コカ・コーラ教育・環境財団寄附講義事務局が置かれ、東京学芸大学における環境教育の拠点の一つとして活用されます。

地球規模での環境悪化が危惧されている今日、環境問題への取り組みは、これまで以上に緊急かつ重要な課題と考えられております。東京学芸大学とコカ・コーラ教育・環境財団は2008年度から協力し、環境教育のさらなる推進のため、次世代の指導者となる学生達の環境マインドを高めることを目的とした寄附講義を展開してまいりました。その過程で両者は、子どもから大人まで幅広い年齢層の方々が、環境について学び交流できる場の必要性を共有し、『コカ・コーラ教育・環境財団寄附施設 若草研究室』を設立する運びとなりました。

『コカ・コーラ教育・環境財団寄附施設 若草研究室』はコカ・コーラ教育・環境財団寄附講義事務局が運営いたします。寄附講義では、教室でのレクチャーと野外でのエコツアーを通じて、環境問題についての高い意識と、自然に対する深い洞察力を備えた次世代の指導者を育てることを目指しています。当研究室は、環境教育を学ぶ学生たちの交流の場として活用されます。また、自然環境や環境問題についての展示が行われるほか、各種の図鑑、環境関連の図書、木材サンプル、自然映像など、環境学習に役立つ資料も置かれ、それらの利用は地域住民の方々にも開放されます。『コカ・コーラ教育・環境財団寄附施設 若草研究室』を媒体として、学芸大学学生と地域住民の方々の交流が深まり、また環境についての理解が深まることを、コカ・コーラ教育・環境財団と東京学芸大学とは期待しております。

国立大学法人東京学芸大学と財団法人コカ・コーラ教育・環境財団は今後も、『コカ・コーラ教育・環境財団寄附施設 若草研究室』を通じ、「環境マインドを持った次世代の指導者養成」を目指してまいります。

※ 本資料は、文部科学記者会、環境省記者クラブ、東商クラブ、農政クラブ、農林記者会、立川市政記者会、武蔵野市政記者会にて配布しております。

■ 『コカ・コーラ教育・環境財団寄附施設 若草研究室』

➤ 施設概要

住 所： 東京都小金井市貫井北町 4-1-1
東京学芸大学内

建 築 面 積： 49.8 m²

主 要 設 備： 薪ストーブ、シーリングファン、
流し台、多目的トイレ

建 設 費 用： 12,600,000 円
(財団寄附金 建設費部分)
6,500,000 円
(大学負担 インフラ等整備部分)

利 用 時 間： 月～金 10：00～16：00 (水曜日は閉室の場合があります)

連 絡 先： コカ・コーラ教育・環境財団寄附講義事務局 (10月9日より運用開始予定)
042-329-7874

cocacola@u-gakugei.ac.jp



➤ 建物の特長

環境に配慮し、省エネルギー・資源の有効活用を目指した実験的な施設で、電力を使用した空調設備は導入していません。効果的に窓を配置し、十分な天井高を確保したことで、夏場でも涼しい空気が建物を循環し、快適に過ごすことができます。冬場は、熱効率の高い薪ストーブを導入し、学内で伐採された木や剪定された木の枝を燃やし、暖を取ります。

➤ 命名の由来

『コカ・コーラ教育・環境財団寄附施設 若草研究室』の名称「若草」は、東京学芸大学学生歌『若草もゆる』から引用されています。『若草もゆる』は昭和32年に制定されたもので、作詞、作曲、編曲すべてが当時の学生によって行われ、現在も入学式や卒業式に歌われています。学生、教職員に親しまれている学生歌に由来する「若草」を当施設に使用することで、①東京学芸大学の旧本館位置にふさわしい歴史の象徴、②若者の初々しさや成長などの期待を込めた、③環境教育にふさわしい、インキュベーション的な活動、萌芽的研究の場となることを願う思いが込められています。

■ 財団法人コカ・コーラ教育・環境財団

財団法人コカ・コーラ教育・環境財団は、2007年6月に37年継続していた日本コカ・コーラボトラーズ育英会と14年継続していたコカ・コーラ環境教育財団の事業を継承し、一元的に運営、推進できる母体として設立されました。心豊かでたくましい人づくり(Healthy Active Life)を理念とし、環境教育、教育支援、スポーツ教育を柱とした貢献事業を企画、提供することにより、国際社会が求める青少年の育成と、彼らを取り巻く地域社会を支える人材の育成を通じ、豊かな社会の形成及び国際親善に寄与することを目的に多様な事業を展開しています。

コカ・コーラ教育・環境財団は、東京学芸大学において寄附講義を開設し、2008年度から東京学芸大学学生および一般市民に向けて、公開講義、公開講座を実施しています。2009年度は水と森と環境をテーマにした公開講義(10月開講)を予定しています。また、2009年度の公開講座は既に4回実施されています。

名 称： 財団法人コカ・コーラ教育・環境財団
英 字 名 称： The Coca-Cola Educational & Environmental Foundation
監 督 行 政： 文部科学省
許 可 日： 2007年6月25日
理 事 長： 縄 英明
所 在 地： 東京都港区六本木 6-2-31
ホームページ： <http://www.cocacola.co.jp/zaidan/>